



Collaboration City 21

社団法人 三原青年会議所新聞



2001年9月20日

発行 / (社)三原青年会議所
編集 / 広報委員会

三原市皆実4丁目8番1号
(三原商工会議所内)

TEL(0848) 363 - 3515

FAX(0848) 362 - 1141

インターネットアドレス

http://www.tako.ne.jp/ mjc/

Eメールアドレス mjc@tako.ne.jp

2001年三原JCスローガン

言行一致

今、JCメンバーとして...

今月号の記事

- 1面 } 地域リーダーへの合併アンケート
- 2面 }
- 3面 8月例会「めざせ！教育マン！」
～次世代を担う子ども達を地域で育てよう！～
- 4面 2002年度(社)三原青年会議所理事・役員紹介
ほくらのまちPR大作戦募集案内/エコジョブ

みたが・きいたが

まるで映画のワンシーンでも見ているかのようだった。9月11日世界貿易センタービルやペンタゴンを標的とした史上最悪の同時多発テロ事件。「数千人の生命が一瞬にして失われた」。ブッシュ大統領が沈痛な面持ちでこう語った姿は何を意味しているのか。現場では、夜を徹しての懸命の救出活動が続けられているが、最終的には想像を絶するほどの犠牲者数になってしまおう。私たちは国際社会の一員として、そしてひとりの人間として、このような卑劣極まりない行為を決して許すわけにはいかない。

我がまち三原市では、同日行われた議会の一般質問において、山本市長が今限りでの勇退を表明した。「平成の市町村合併が言われている時に、清新の気溢れる市長の登場を期待するのが今の私の置かれている立場」とは、山本市長の弁。山本市長に期待していた市民も居たはずだが・・・今回の市長選には、すでに数名の候補者の名前があがっている。地方分権が叫ばれ「自らのまちのことは自らの手で」という「地方の時代」が到来する今、地域のリーダーの手腕が問われることとなる。そして、その市長を選ぶ私たち市民の責任も重大である。

「誰が市長になっても同じ」とか「市長がどんな人かわからない」ということは、選挙の前によく市民の声としてあがる。しかしそれは、三原のまちのことは他人任せ、自分の住むまちの将来を考えることを放棄した市民の言い訳にしかすぎないような気がする。合併問題をはじめ、市長の意向に左右される問題が山積しているが、選挙までに立候補者らの政策論争が行われることを期待する。そして、私たち市民は自らの責務として、立候補者らの政策を見極め、明日のみはらをみながら考えていかなければならない。

三原市長選挙は、11月18日告示され、25日投票日である。市民ひとり一人が候補者らの政策を真摯に見つめ、責任をもって投票することを期待する。

久井町 三原市 本郷町 瀬戸田町

広域まちづくり研究会 レポート

見えない、聞けない。

合併意識調査 アンケート実施!

みはらの行方

～地域のリーダーへの合併アンケート～

「広島県内でも江能3町や大崎上島など、行政と住民が一緒になって真剣に合併について考えているのに、なぜ私たちのまちはそれができないの?」・・・7月に行われた「広域まちづくり研究会」の参加者から素朴な意見としてもちあがりました。今年2月から開催された「広域まちづくり研究会」は、久井町・瀬戸田町・本郷町・三原市の1市3町で勉強会や意見交換を重ねてきましたが、どの地域でも「首長、議会、行政の合併についての考え方がわからない」、「合併についての情報が全く伝わってこない」というのが共通した意見でした。しかしこれは私たち地域住民にも責任があることです。何をすることも行政まかせ、我がまちをどうしたいかという意見はほんのごく一部の人が持っていないような気がします。

そこで、「広域まちづくり研究会」では、1市3町の意見の集約として、首長・議長・行政・三原商工会議所会頭・3町商工会会長に対し、公表させていただくことを前提に、合併に関するアンケートを行い、8月24日(金)三原市中央公民館にて行われた第7回「広域まちづくり研究会」において発表されました。

我々の地域のリーダーは、地域主権型社会への移行とともに今後おこるであろう市町村合併に対して現在どのように考えているのか、また、今後は住民に対してどのように接していくのかということアンケート結果に基づき報告します。

2005年3月の合併特例法の期限までに合併をすれば多くの国・県の支援・特例があります。「広域まちづくり研究会」は、将来的な地方分権型社会の受け皿として合併後のまちが効率的な行政運営することなどによって、私たちのまちを時代に合った魅力ある新しいまちへと、住民と行政とで協働して早急に考えることが必要であると考えています。

アンケート結果

質問事項		Q1-1.	Q1-2.	Q1-3.	Q1-4.
アンケート先	三原市	国・県が推進している平成17年3月までの「市町村合併」について枠組みでなく方向性は賛成ですか。	県が示した枠組みについてどちらがよろしいですか? (Q1-1で賛成の方にお聞きします。)	その枠組みで合併は平成17年3月(合併特例法期限切れ)までに達成できると思いますか。	法定合併協議会を作る予定はございますか。(議長にお聞きします)
	首長	三原市	現時点においては意見・意思表示は差し控えたい		
	久井町	回答なし			
	瀬戸田町	回答なし			
議長	本郷町	現時点においては意見・意思表示は差し控えたい			
	三原市議会	賛成	久井町・瀬戸田町・本郷町・三原市	はい	はい
	久井町議会	回答なし			
	瀬戸田町議会	回答なし			
行政	本郷町議会	考慮中	無回答	無回答	はい
	三原市	現時点で行政職員として意見等については差し控えるのが適切と考えます。			
	久井町	回答なし			
	瀬戸田町	回答なし			
経済団体	本郷町	回答なし			
	三原商工会議所	賛成	久井町・瀬戸田町・本郷町・三原市	はい	
	久井町商工会	回答なし			
	瀬戸田町商工会	回答なし			
	本郷町商工会	回答なし			

(2面につづく)

本紙『やっさもっさ』は、1月から11月まで毎月1回発行し、新聞折り込みを中心に配布しております。何卒ご愛読ください。
やっさもっさは資源保護のため再生紙を利用しています。